

# 岩手県感染症週報


令和3年第25週 (6月21日～6月27日)

岩手県感染症情報センター

## 第25週の概要

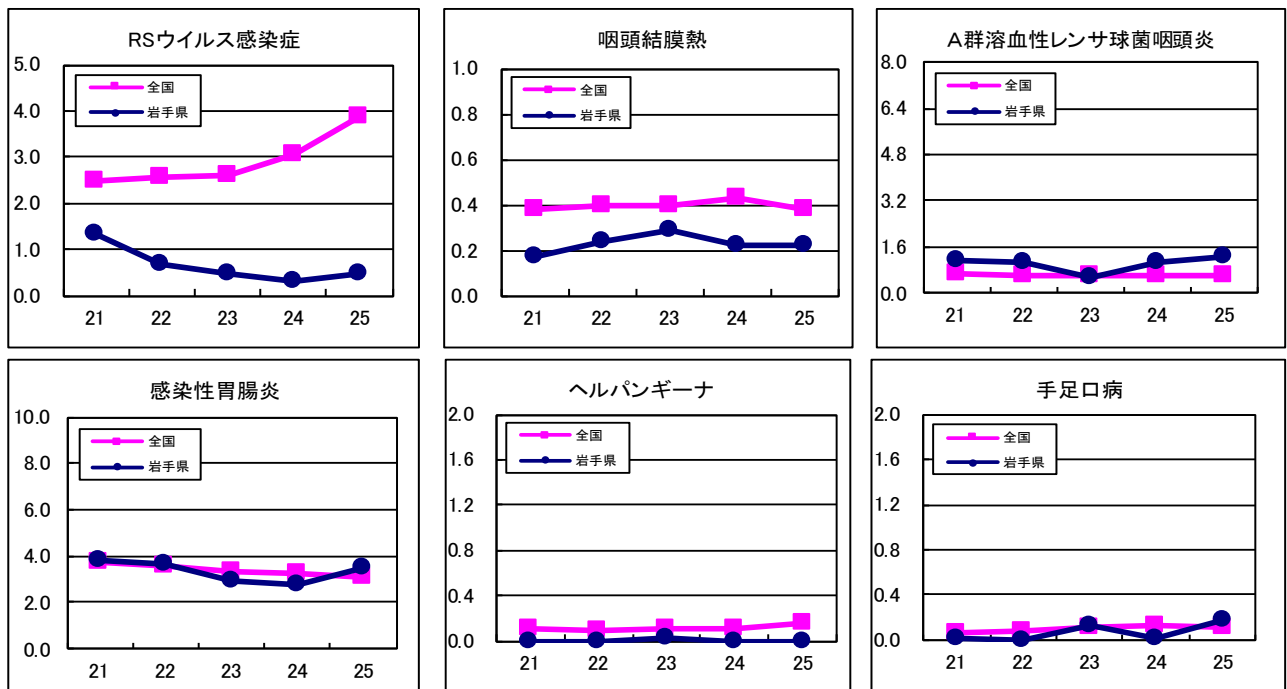
- 1 類感染症・患者発生の報告はありませんでした。
  - 2 類感染症
    - ・結核の報告が11例ありました。そのうち7例は潜在性結核感染症でした。
  - 3 類感染症
    - ・患者発生の報告はありませんでした。
  - 4 類感染症
    - ・レジオネラ症の報告が二戸地区から1例ありました。
  - 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
    - ・百日咳の報告が中部地区から1例ありました。
  - 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
    - ・感染性胃腸炎は、盛岡市と奥州地区で患者数が増加しました。ノロウイルス等の胃腸炎ウイルスは、消毒用アルコールが効きにくいいため、石けんと流水による手洗いが重要です。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用し、塩素系薬剤を使用して適切に処理しましょう。
    - ・溶連菌咽頭炎は、例年より患者数は少ないですが、前週より増加しました。主な症状は、発熱、全身倦怠感、咽頭痛で、急性腎炎を併発することもあります。処方された薬を飲みきることが大切です。予防には手洗いとうがいの励行、患者との濃厚接触を避けることが重要です。
    - ・咽頭結膜熱 (プール熱) は、この時期から患者が増える夏かぜの一つです。感染経路は、飛沫・接触感染で、主な症状は発熱、咽頭炎、結膜炎です。消毒用アルコールは原因となるアデノウイルスに対して効果が弱いため、予防には石けんと流水による手洗いとうがい、タオルを共用しないことが有効です。
- 新型インフルエンザ等感染症
- ・新型コロナウイルス感染症は、この週は34人の患者報告がありました。5月以降、繁華街の飲食店を発端とするクラスターが多く確認されています。常時マスクの着用、手洗い・手指消毒の励行、感染リスクが高まる場面の回避 (三密だけでなく一密でも感染し得る) に努めましょう。

「岩手県-新型コロナ対策パーソナルサポート (@iwatevscovid19) ID検索またはQRコードから友達追加



## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症 (定点把握疾患) から5類感染症 (全数把握疾患) へ変更されました。  
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾患となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		21	22	23	24	25		
インフルエンザ	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
RSウイルス感染症	岩手県	1.32	0.68	0.46	0.29	0.49	→	☆
	全国	2.49	2.56	2.62	3.05	3.87		
咽頭結膜熱	岩手県	0.17	0.24	0.29	0.22	0.22	→	☆
	全国	0.38	0.40	0.40	0.43	0.38		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.15	1.07	0.56	1.05	1.24	→	☆
	全国	0.65	0.63	0.61	0.59	0.58		
感染性胃腸炎	岩手県	3.80	3.68	2.93	2.76	3.51	↗	☆
	全国	3.75	3.56	3.31	3.23	3.11		
水痘	岩手県	0.12	0.12	0.17	0.02	0.07	→	
	全国	0.13	0.12	0.12	0.11	0.10		
手足口病	岩手県	0.02	0.00	0.12	0.02	0.17	→	☆
	全国	0.07	0.08	0.11	0.12	0.11		
伝染性紅斑	岩手県	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
突発性発疹	岩手県	0.63	0.39	0.56	0.59	0.41	→	☆
	全国	0.45	0.45	0.44	0.43	0.43		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	→	
	全国	0.10	0.09	0.11	0.11	0.15		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.05	0.07	0.05	0.05	0.02	→	
	全国	0.06	0.06	0.05	0.06	0.05		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.00	-	0.00	0.00		
流行性角結膜炎	岩手県	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	→	
	全国	0.23	0.19	0.20	0.20	0.19		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.04	0.03	0.04	0.02		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	-	-	0.00	-		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	1	1	1	2	1		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		21	22	23	24	25		25	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者再掲	2 (0)	0 (0)	4 (2)	1 (0)	11 (7)	74 (38)	251	7426
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	4
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	3	106	842
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	1	7	259
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	0	36
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	15
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	4
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	7	62
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	3	0	1	1	0	7	3	118
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	18	145
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	2	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	5	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	7	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	1	5	29	662	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	2	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 21	22	23	24	25	累計 25	累計	
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	9	261
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	1	92
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	3	30	853
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	8
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	6	160
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	77
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	3	302
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	12	482
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	19
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	7	111
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	5	24	710
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	2	2	127
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	6	107	3149
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	3	68
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	43
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	61
百日咳	0	0	0	0	1	2	12	300	
風しん	0	0	0	0	0	0	0	7	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	2	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	
※ 新型コロナウイルス感染症	90	68	89	34	34	1273	1	579	

※新型インフルエンザ等感染症として新型コロナウイルス感染症 (令和3年2月13日～)

今注目の感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルス (Respiratory Syncytial Virus) を原因とする呼吸器疾患です。2歳までには、ほぼ100%の乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。症状は、軽い風邪様症状から重い肺炎まで様々ですが、生後数週間から数か月間の乳幼児が初めてRSウイルスに感染した場合や高齢者は重症化しやすく、細気管支炎や肺炎など重篤な症状を引き起こす場合があります。

感染経路は、咳やくしゃみなどの飛沫感染、ウイルスが付着した手指などを介した接触感染です。手洗いや咳エチケットをはじめとした基本的な予防対策が重要です。

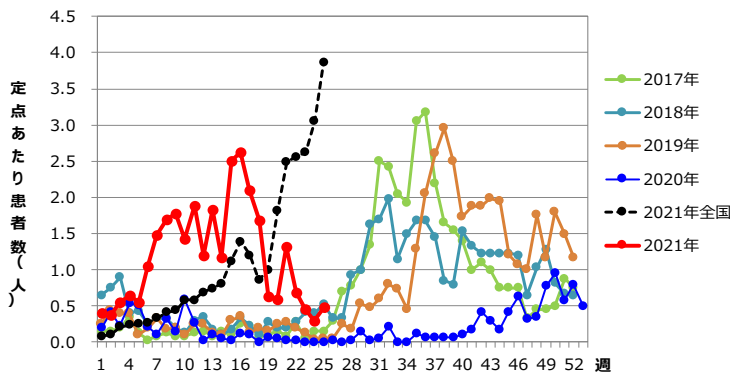
【参考】

- ・RSウイルス感染症Q&A (厚生労働省)

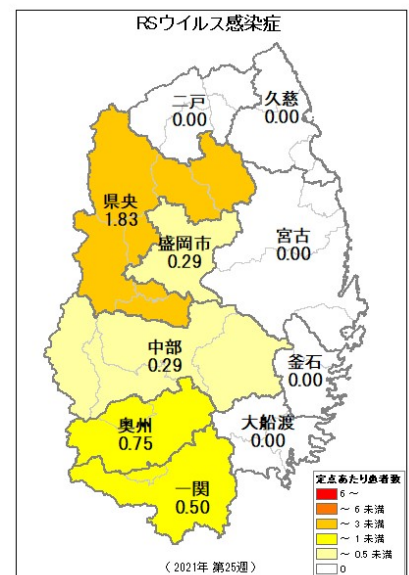
[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)

- ・RSウイルス感染症とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>



岩手県におけるRSウイルス感染症週別患者報告数 (2017年～2021年25週)



第25週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。  
※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報)」を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。令和3年2月13日に指定感染症から新型インフルエンザ等感染症になりました。

国内の発生状況は図1(厚生労働省HPより)のとおりです。岩手県では、県内初の報告が2020年7月29日に2例あり、2020年は394例の報告がありました。2021年は第25週までに1273例が報告されています。予防には、咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症予防対策に努めていただくとともに、「3つの密」(換気の悪い密閉空間、人が密集している、近距離での会話や発声が行われる)を避けるようにしましょう。

また、環境保健研究センターで行っている、新型コロナウイルスのPCR検査件数と陽性件数の推移、岩手県の新型コロナウイルス陽性者の年齢層別は図2および図3のとおりです。年齢層別では20代が最も多く30代、40代の順に多くなっています。

検査は、2020年2月上旬から開始しました。検査件数は、2020年第48週(11/23～11/29)に1094件と最大となりましたが、2021年第8週(2/22～2/28)には61件と患者報告数の減少と共に少なくなりました。その後は増減を繰り返して推移し、第25週は175件の検査を実施しました。

<<<岩手県の電話相談窓口>>>

○受診・相談センター(コールセンター)

受付時間 24時間 全日(土日・祝日含む)

TEL:019-651-3175 FAX:019-626-0837

- ①発熱等の症状が生じた場合は、まず「かかりつけ医」に電話でご相談ください。
- ②相談先に迷う場合や「かかりつけ医」がない場合は、「受診・相談センター」に。
- ③①または②での紹介・案内に従い、「診療・検査医療機関」を受診してください。

詳しくは、岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページを御覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

また、新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いします。

◆参考

新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

新型コロナウイルス(2019-nCoV)関連情報について

－国立感染症研究所－

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

図1 全国の新型コロナウイルス陽性者数(～6/29)

(累計 790,445 人)

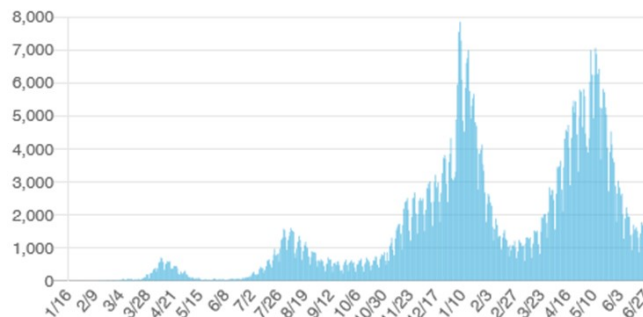


図2 週別新型コロナウイルス検査件数(人) 2020年第7週～2021年第25週

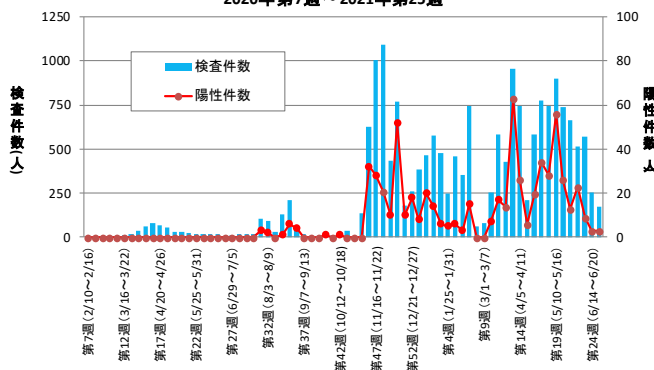
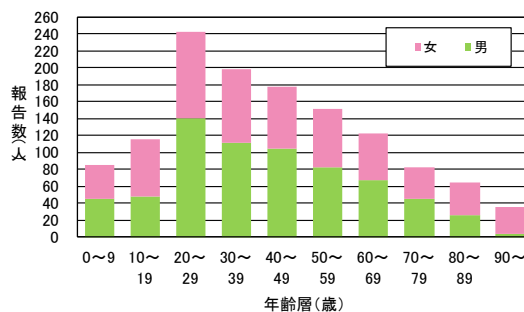


図3 岩手県における新型コロナウイルス感染症の報告数 性別、年齢層別 2021年第25週現在、N=1273





今注目の感染症

つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシの幼虫に吸着されることで感染します。ツツガムシは、ダニの一種で、野山、田畑及び河川敷などに生息しています。ツツガムシは一代に一度だけ、卵から孵化した後の幼虫期に哺乳動物に吸着し、組織液を吸います(図1)。潜伏期間は5~15日間で、主な症状は、高熱(38~40℃)、発疹、頭痛で、ツツガムシによる刺し口(写真1)があることが特徴です。つつが虫病は、治療が遅れることで重症化・死亡することもあるため、疑わしい症状が出た際は早期に受診し、野外活動(農作業や山菜取り、山や河川でのレジャー等)について医師に伝えることが重要です。

全国的には5~6月と11~12月に患者が増加しますが、東北では雪解け後の5~6月に患者が多くなります。岩手県では、2020年に3例(6月1例、8月1例、10月1例)、2021年第25週までに7例(4月1例、5月4例、6月2例)の報告があり、野外活動の際には注意が必要な感染症です。

つつが虫の予防には、吸着を防ぐことが最も重要です。病原体を持ったツツガムシの幼虫が、衣服の隙間等から体表面の柔らかい部位(わきの下、内股、陰部、下腹部など)にたどり着き、体液を吸うことで感染します。一方、ツツガムシの幼虫が取り付いてから吸着するまでに6時間以上かかることとされています。これらのことから、野外活動の際には、以下の対策をとるよう心がけましょう。

- ① 長袖、長ズボンに足首までを覆う靴を履き、素肌をさらさないこと
- ② ディートまたはイカリジンを含有した虫よけ剤を使うこと
- ③ 帰宅後はすぐに入浴、洗濯をすること

【参考】

・ ツツガムシ病とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/436-tsutsugamushi.html>

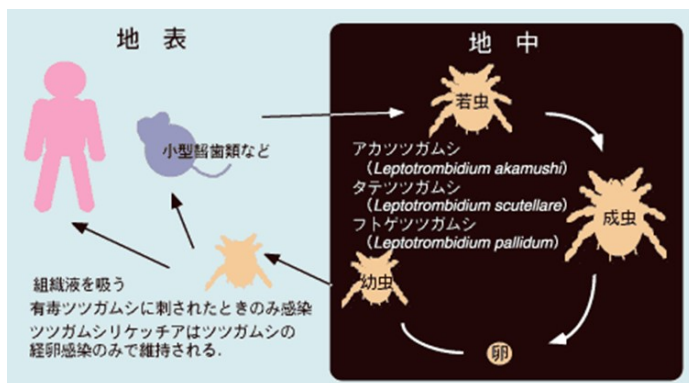


図1 ツツガムシの生活環  
(国立感染症研究所HPより)

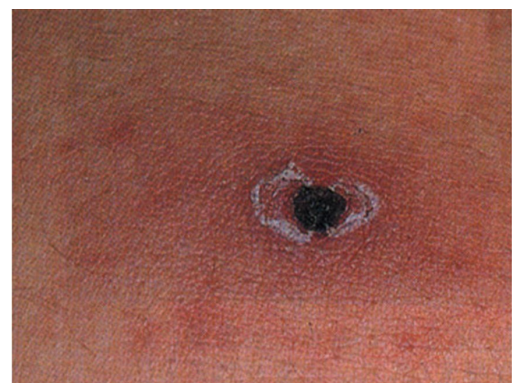


写真1 ダニの刺し口  
(国立感染症研究所HPより)

## 集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありませぬ。

## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありませぬ。



## 医療機関からの情報

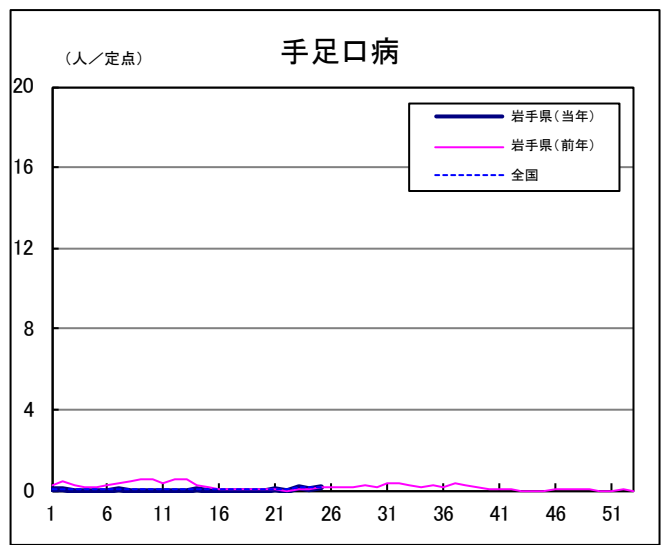
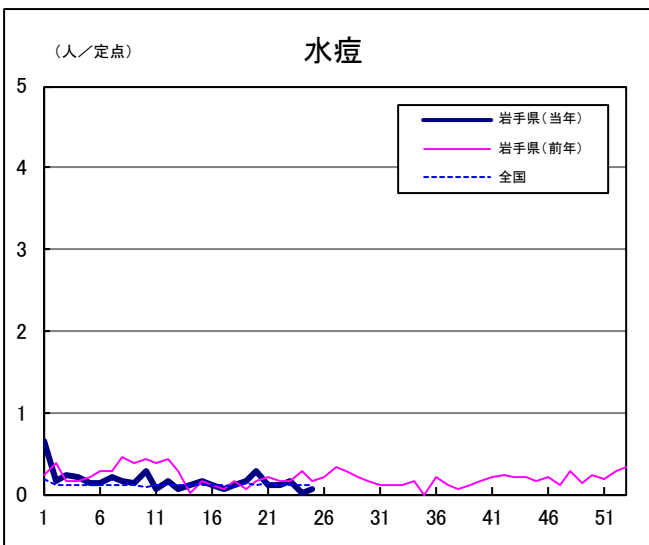
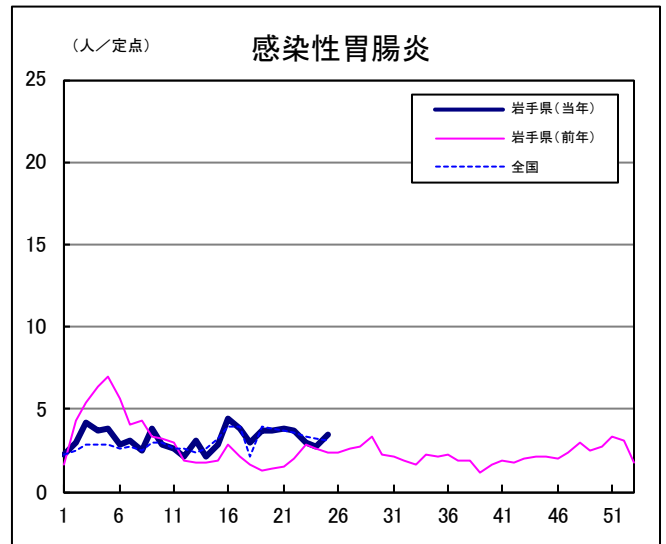
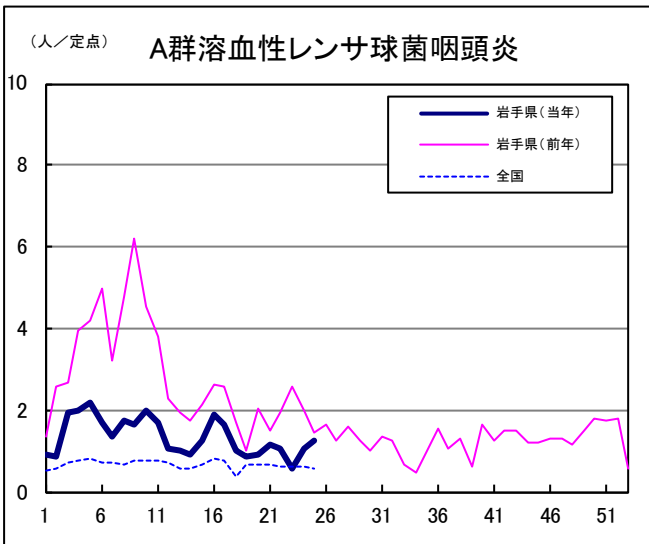
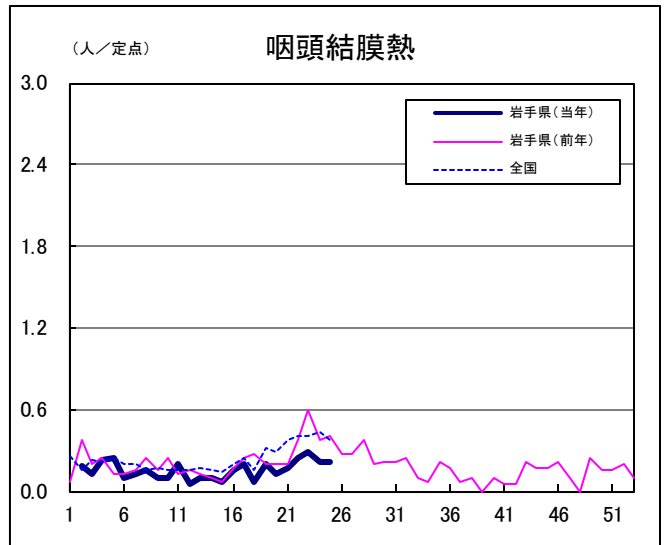
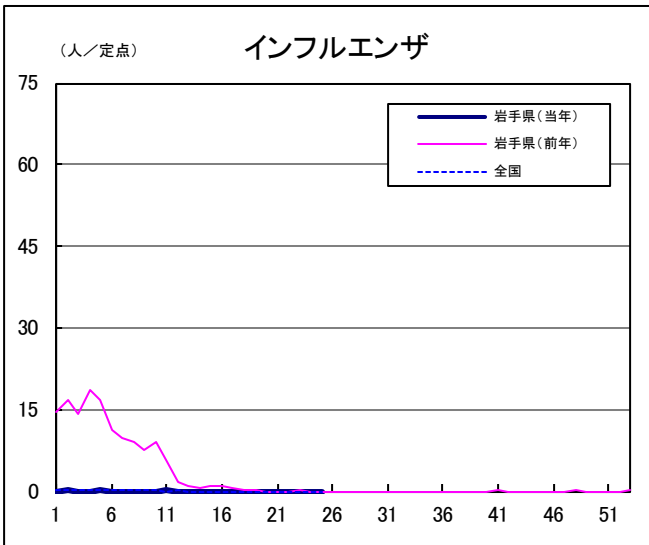
- ・この週には医療機関からの情報はありませぬ。

## Q & A

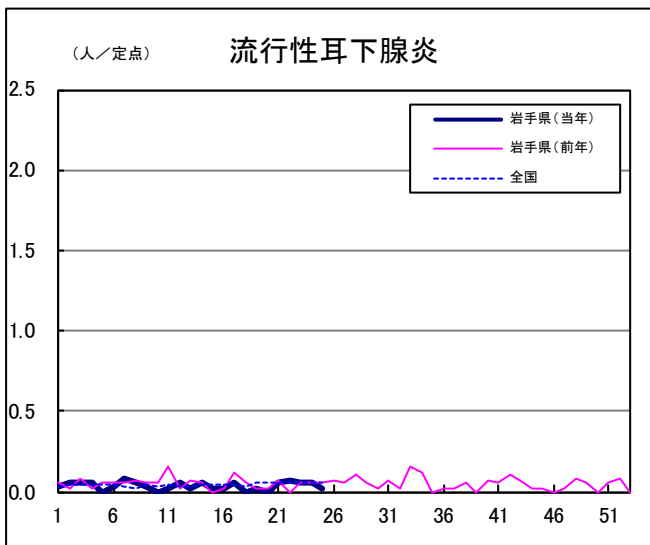
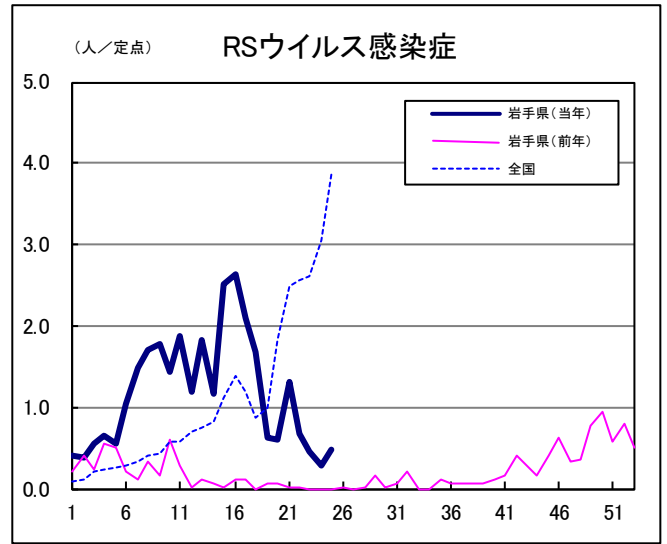
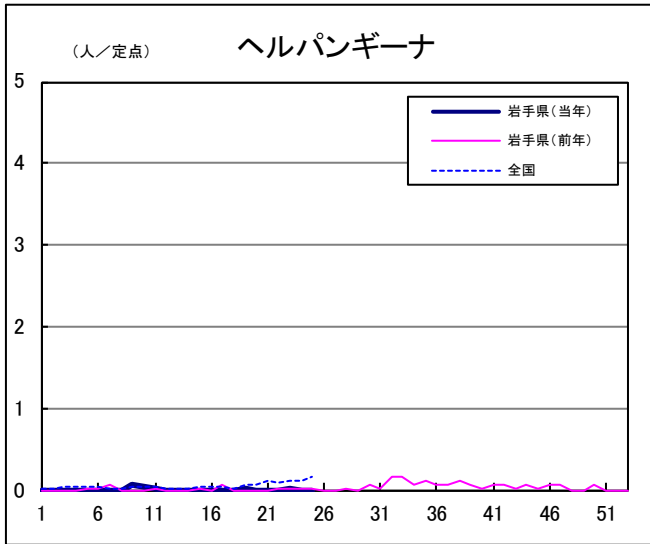
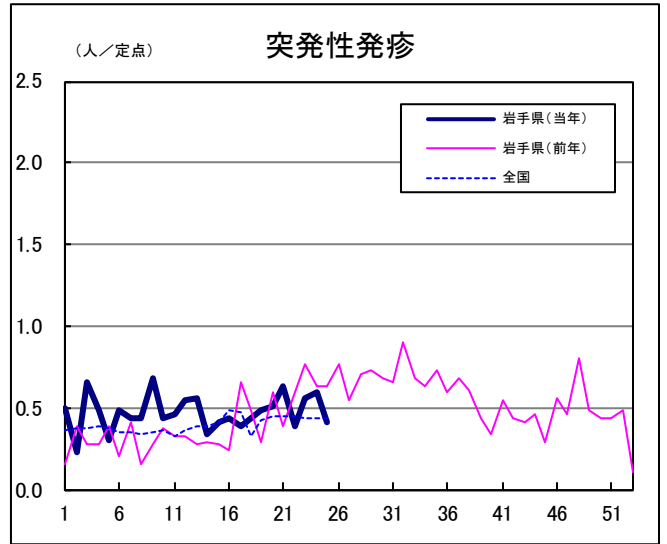
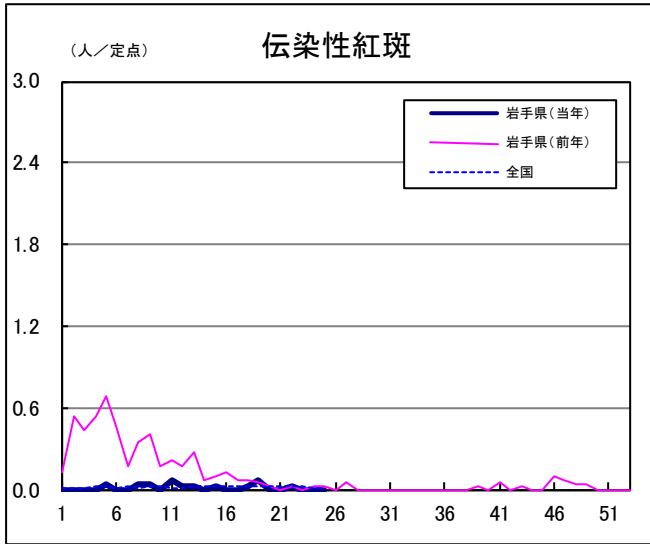
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

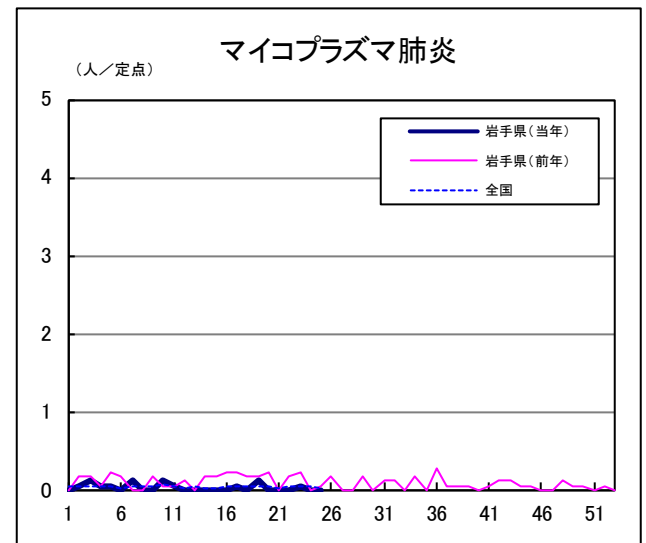
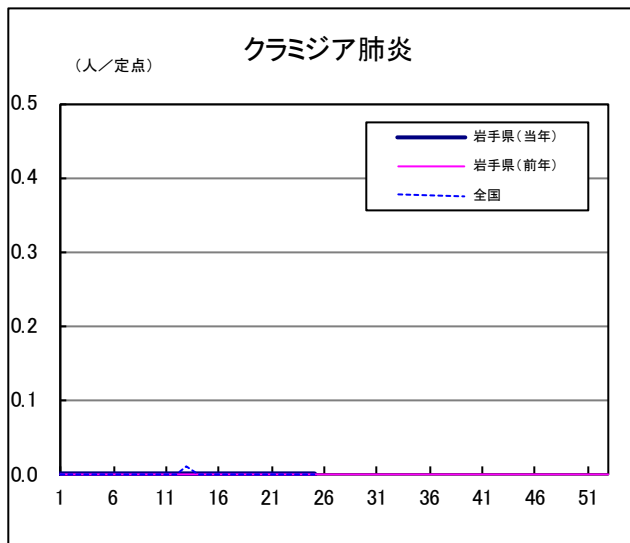
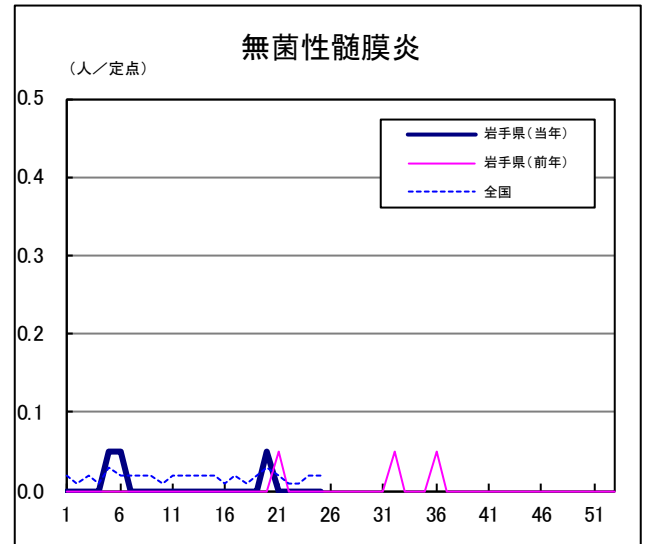
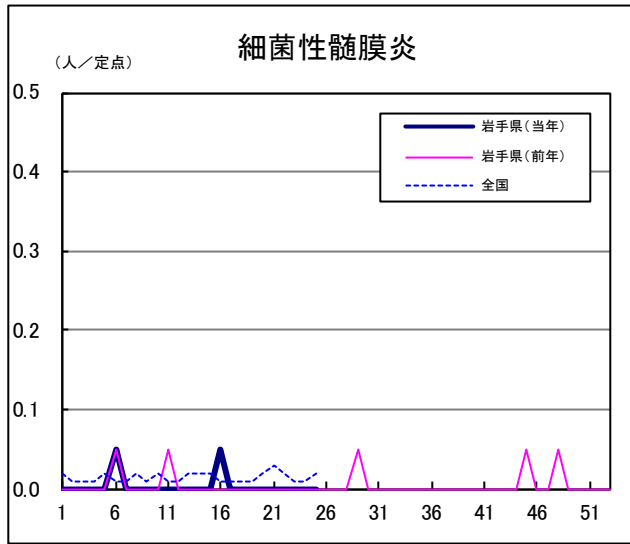
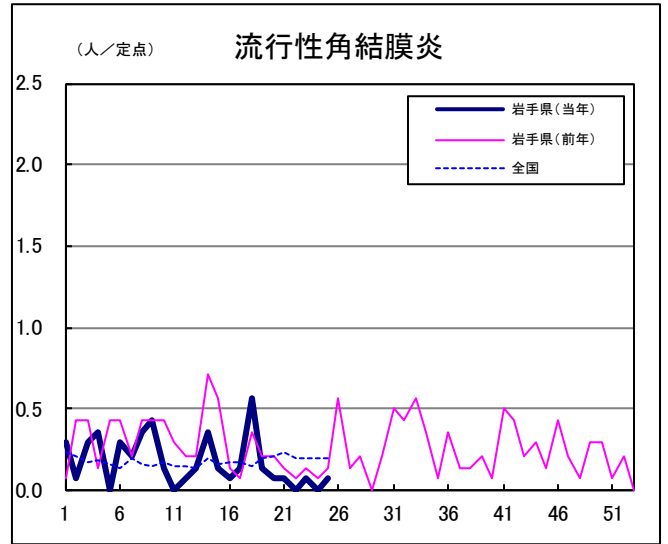
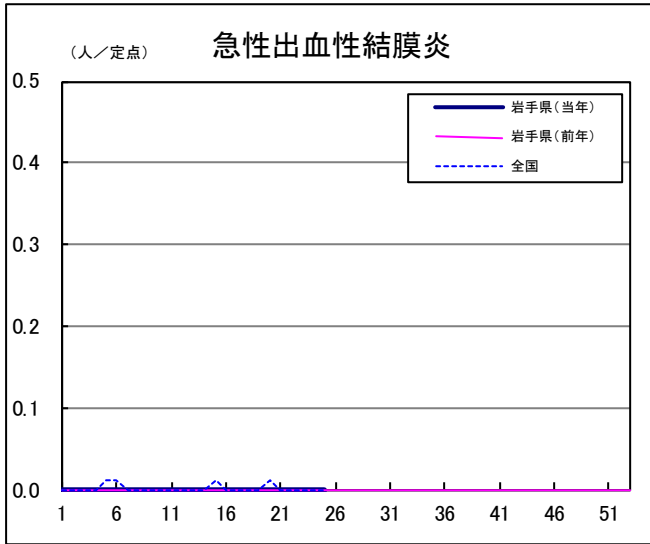
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		65	41	14	19
盛岡市		11	7	3	4
県央		9	6	2	1
中部		12	7	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		5	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和3年第25週 令和3年7月2日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>